

助 長  
じよ ちやう

宋人有閔其苗之不長而揠之者

そとう ひとニ あり うれへ その なへ の  
宋 人 有 閔 其 苗 之

① ② ⑬ ⑧ ③ ④ ⑤

ぎ ルヲちやうぜ

不レ長 而 揠レ之 者<sub>上</sub>。

ぬク これヲ もの

⑦ ⑥ ⑩ ⑨ ⑪

宋人にその苗の長ぜざるをうれへ、これをぬく者あり。

宋の国の人で自分の畑の苗が伸びないことを心配して、苗を引っぱり上げる者がいた。

宋 紀元前の中国にあった国。

芒芒然歸謂其人曰今日病矣

予助苗長矣

① ぼう ぼう ぜんトシテかへリ  
② ③ ④  
芒芒然歸、

① ② ③ ④  
いとテそノひとニ いハク

謂ニ其人一日、

⑦ ⑤ ⑥ ⑧  
こん にち つかレタリ

「今日病矣。」

⑨ ⑩ ⑪  
われ たすケテなへヨ ちやうゼシムト

① ③ ② ④  
予助レ苗長矣。」

芒「芒然として帰り、その人にいひて

いはく、

「今日病つかれたり。

予苗を助けて長ぜしむ。」と。

すつかり疲つかれはてて家に帰つて、家族に、

「今日は疲れたよ。わしは苗を助けて伸ばして  
やったのだ。」と言つた。

其子趨而往視之苗則槁矣

そのこ

はしりて

ゆきてみればこれヲ

其子趨而往視之、

①

②

③

④

⑥

⑤

なへ

すなはち

かレタリ

苗則槁矣。

⑦

⑧

⑨

その子はしりて往きてこれを視れば、

苗則ちかれたり。

むすこ

その息子が走って畑に行つて見てみると、苗

はもう枯かれていた。

【参考】

蛇だ 足そく

楚有祠者賜其舍人卮酒

そニ リ まつル

楚 有ニ 祠 者、

① ④ ② ③

たまフ そのノ しゃ じんニ し しゆヲ

賜ニ 其 舍 人 卮 酒。

⑩ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

楚に祠る者あり、その舍人に

卮酒を賜ふ。

楚の国に、祭礼をつかざぶる者がいて、（その人

は）その使用人に大きな杯に満たされた酒を与えた。

舎人相謂曰数人飲之不足一人飲

之有余請画地为蛇先成者飲酒

舎人相謂曰、

あひ いヒテいハク

① ② ③ ④ ⑤

「数人飲之不足、

マバこれヲ ず ラ

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

一人飲之有余。

いち にん マバ ヲ リ リ

⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱

請、画地为蛇、

こつ ゑがキテ ニつくり へびヲ

① ② ③ ④ ⑤

先成者飲酒。」

まツ ル マント ヲ

⑥ ⑦ ⑧ ⑩ ⑨

舎人相謂ひて曰はく、

「数人これを飲まば足らず、一人これを

飲まば余りあり。請ふ、地に画きて

蛇を為り、まづ成る者酒を飲まん。」と。

使用人は話し合つて、

「数人で飲めば足りないが、一人で飲めば余り

がある。(そこで、)どうか地面に蛇を描き、  
えが

最初に描き<sup>か</sup>上がった者が酒を飲むことにしたい。」

と言つた。

一人蛇先成引酒且飲之乃左

手持卮右手画蛇曰吾能為之足

いち にんノへび まツル

一人蛇先成。

① ② ③ ④ ⑤

キテ ヲまさニ マント ヲ

引レ酒且飲レ之。

す

② ① ③ ⑥ ⑤ ④

すなは手 ニテ チシヲ

乃左手持レ卮、

① ② ③ ⑤ ④

ニテ忍がキテ ヲ いハク

右手画レ蛇曰、

⑥ ⑦ ⑨ ⑧ ⑩

われ よく つくルト ガ ヲ

「吾能為ニ之足。」

⑪ ⑫ ⑮ ⑬ ⑭



一人の蛇まづ成る。酒を引きてまさにこれを飲まんとす。すなはち左手にて卮を持ち、右手にて蛇を画きて曰はく、「吾よくこれが足を為る。」と。

(競争が始まり、)一人の蛇が最初に描き上がった。(そこで、)酒を引き寄せて今にも飲もうとした。そして、左手で杯むかづきを持ちながら、右手では(再び地面に)蛇を描き(始め)、か「私はこの足を描くこともできる。」と言った。

未成一人之蛇成奪其危曰蛇

固無足子安能為之足

いまダ ラ いち にん の へび ル  
未<sup>レ</sup>成、一人之蛇成。  
ぎルニ

うば<sup>レ</sup>テ ノ シ ヨ い ハク

奪<sup>ニ</sup>其危<sup>一</sup>曰、

もと<sup>レ</sup>コシ

「蛇固無<sup>レ</sup>足。」

し いづクンヅよク つくランヤト ガ ヨ

子安能<sup>ニ</sup>為<sup>一</sup>之足<sup>一</sup>。」

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧

- ①
- ②
- ③
- ④

いまだ成らざるに、一人の蛇成る。その  
の尻を奪ひて曰はく、

「蛇もとより足なし。子いづくんぞ

よくこれが足をつくらんや。」と。

(すると、その足がか描き終わらないうちに、

もう一人の蛇が描き上がった。(そして、)最初

に描き上げた者の杯ちかを奪い、

「蛇にはもともと足がない。あなたは どうしてそ  
の足を描くことができたのよ。」と言った。

遂飲其酒為蛇足者終亡其酒

つひニ ム その ヲ

遂 飲ニ 其 酒一。

① ④ ② ③

つくる つひニ うしなフ その ヲ

為ニ 蛇 足一者、終 亡ニ 其 酒一。

③ ① ② ④ ⑤ ⑧ ⑥ ⑦

つひにその酒を飲む。蛇足をつくる者、

つひにその酒をうしなふ。

そうしてその酒を飲んでしまった。蛇の足を描<sup>か</sup>

いた者は、結局その酒を飲むことができなくなつ

てしまった。